

『小学校出前実験2018』を開催しました



12月11日(火)に、2年生普通科理系の生徒が、高津小学校、益田小学校、吉田小学校で、小学校6年生の児童に対し、「出前実験」を行わせていただきました。「出前実験」は今年で8年目となり、生徒の中には自分が小学生の時に、出前実験を体験した生徒もいます。

今年度は7つの実験ブース(化学実験3つ、物理実験2つ、生物実験2つ)を設けました。生徒は7ブースに分かれて事前実験を行い、実験道具を用意し、どのように実験の原理を説明したら小学生に分かってもらえるのかをよく考え、模造紙に説明や絵を描いて準備をしてきました。

当日は、まず全員で「雲をつくろう」と「水素の爆発」の実験をしました。その後、小学生に7グループに分かれてもらい、7つの実験のブースを順にまわってもらいました。小学生と高校生が、和気あいあいと理科実験を通して楽しく交流することができました。

生徒は出前実験を行い、「人に説明するには自分がきちんと理解していなければならないと感じた」、「小学生が質問をしてくれて、興味を持ってくれていることが分かり、嬉しかった」、「実験に対する反応が純粋でやりがいを感じた」等の感想を述べています。小学生に教える体験をさせていただくことで、理科に対する興味関心や理解が深まっただけでなく、いろいろな刺激を受けることができました。これを今後の学びに生かしてほしいと思います。小学生の皆様にも出前実験を通して、理科に興味を持ってもらえるようになれば、幸いです。小学校の皆様、ありがとうございました。